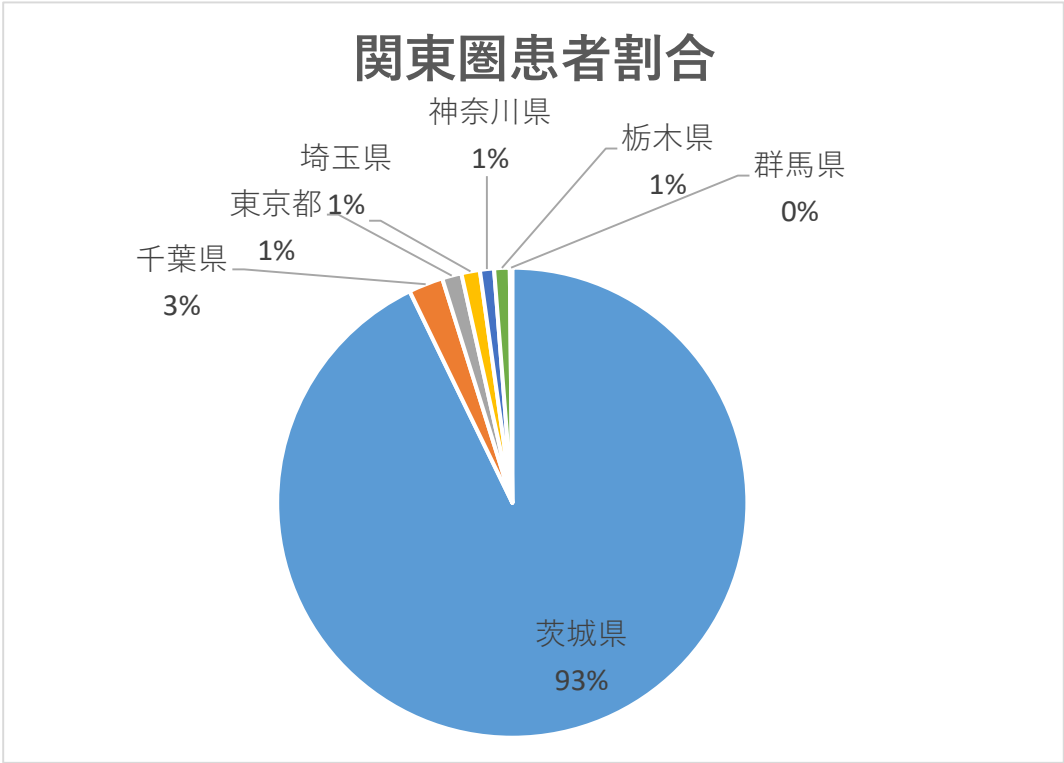


都道府県別登録患者数

	都道府県	人数		都道府県	人数
北海道・東北	北海道	0	近畿	三重県	0
	青森県	(1-3)		滋賀県	(1-3)
	岩手県	0		京都府	(4-6)
	宮城県	(1-3)		大阪府	(1-3)
	秋田県	(1-3)		兵庫県	(1-3)
	山形県	(1-3)		奈良県	0
	福島県	10		和歌山県	(1-3)
関東	茨城県	2777	中国・四国	鳥取県	0
	栃木県	32		島根県	0
	群馬県	(4-6)		岡山県	0
	埼玉県	38		広島県	(1-3)
	千葉県	70		山口県	0
	東京都	40		徳島県	(1-3)
	神奈川県	29		香川県	0
				愛媛県	(1-3)
中部	新潟県	(1-3)	九州・沖縄	高知県	0
	富山県	(1-3)		福岡県	(1-3)
	石川県	0		佐賀県	0
	福井県	0		長崎県	0
	山梨県	(1-3)		熊本県	0
	長野県	(1-3)		大分県	(1-3)
	岐阜県	0		宮崎県	0
	静岡県	(1-3)		鹿児島県	(1-3)
	愛知県	0		沖縄県	(1-3)
				その他(外国)	(1-3)

* 10名未満は1-3名、4-6名、7-9名として公表しております



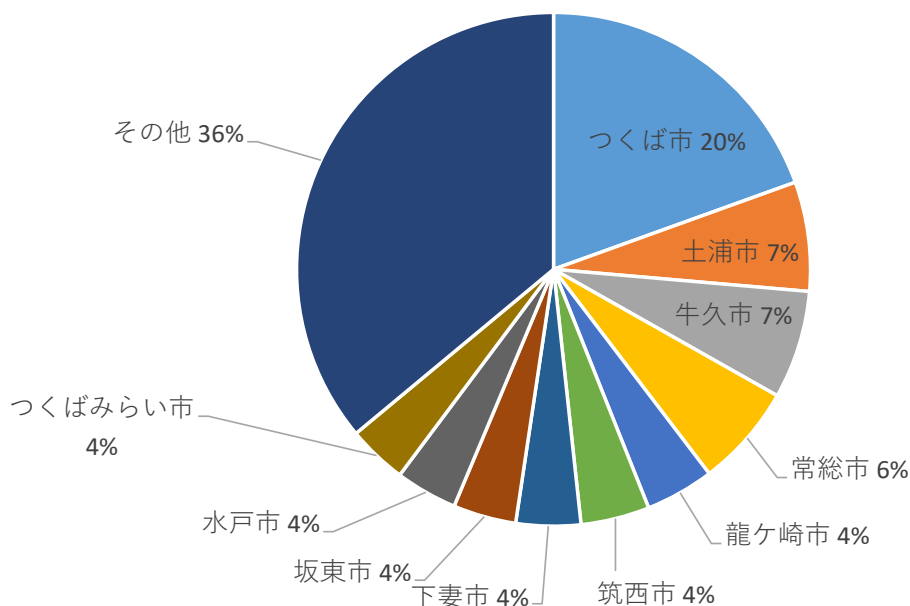
茨城県市町村別患者数

市町村	人数	市町村	人数
石岡市	47	つくば市	541
潮来市	11	つくばみらい市	104
稲敷郡	91	土浦市	191
稲敷市	48	取手市	78
牛久市	189	那珂郡	12
小美玉市	29	那珂市	23
笠間市	23	行方市	19
鹿嶋市	36	坂東市	110
かすみがうら市	37	東茨城郡	30
神栖市	30	常陸太田市	16
北茨城市	12	常陸大宮市	19
北相馬郡	27	日立市	40
久慈郡	(4-6)	ひたちなか市	60
古河市	61	鉾田市	23
桜川市	50	水戸市	108
猿島郡	40	守谷市	71
下妻市	113	結城郡	47
常総市	179	結城市	(7-9)
高萩市	(4-6)	龍ヶ崎市	120
筑西市	120		

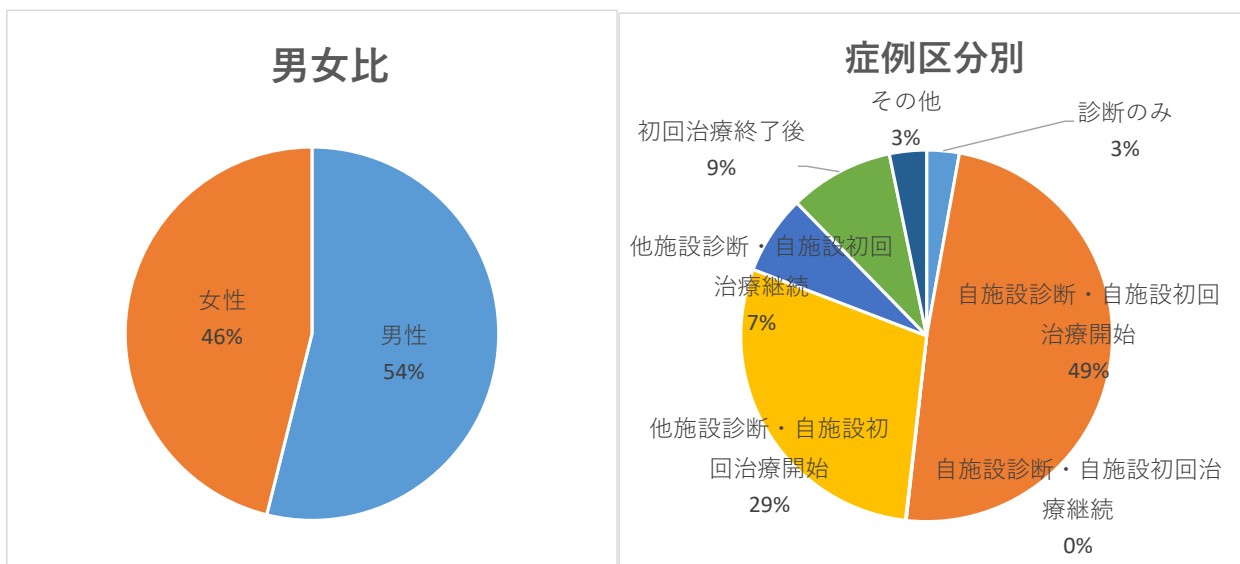
* 50音順

* 10名未満は1-3名、4-6名、7-9名として公表しております

茨城県市町村別患者割合



全登録症例について



症例区分は、がんの診断・初回治療に当院がどのように関わっているかを表しています。

「診断のみ」：当院でがんを診断したが、初回治療を当院で施行しなかった

「自施設診断・自施設初回治療開始」：当院で診断・初回治療を施行した

「自施設診断・自施設初回治療継続」：当院で診断後、他施設で初回治療が開始され、その後当院で初回治療を継続した

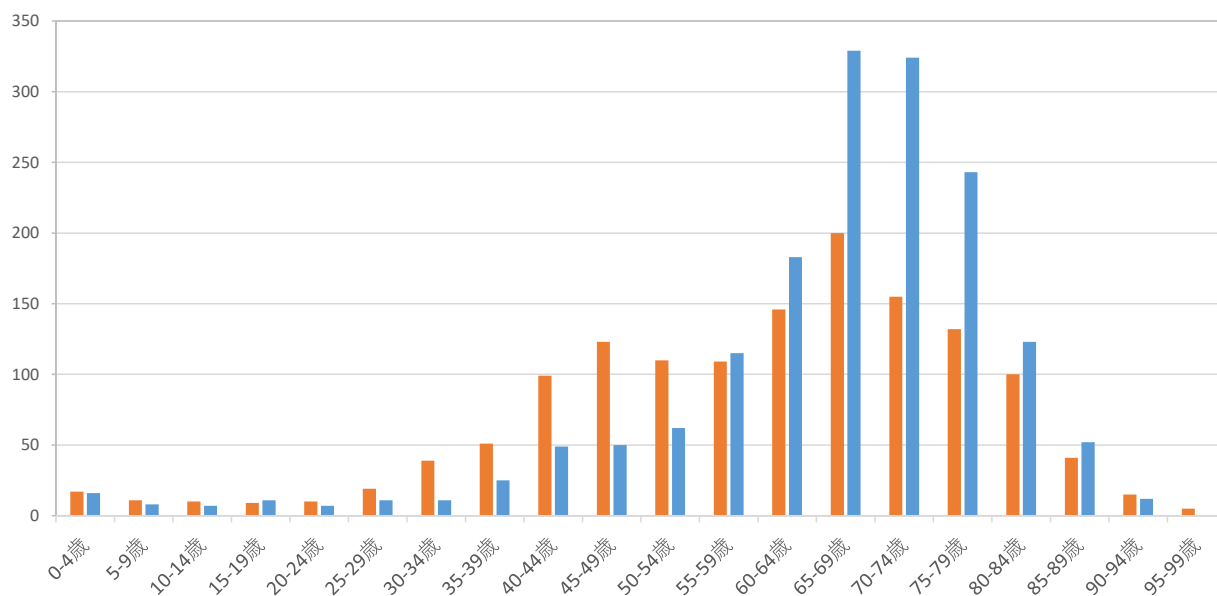
「他施設診断・自施設初回治療開始」：他施設で診断され、当院で初回治療を施行した

「他施設診断・自施設初回治療継続」：他施設で診断・初回治療が施行され、当院で治療を継続した

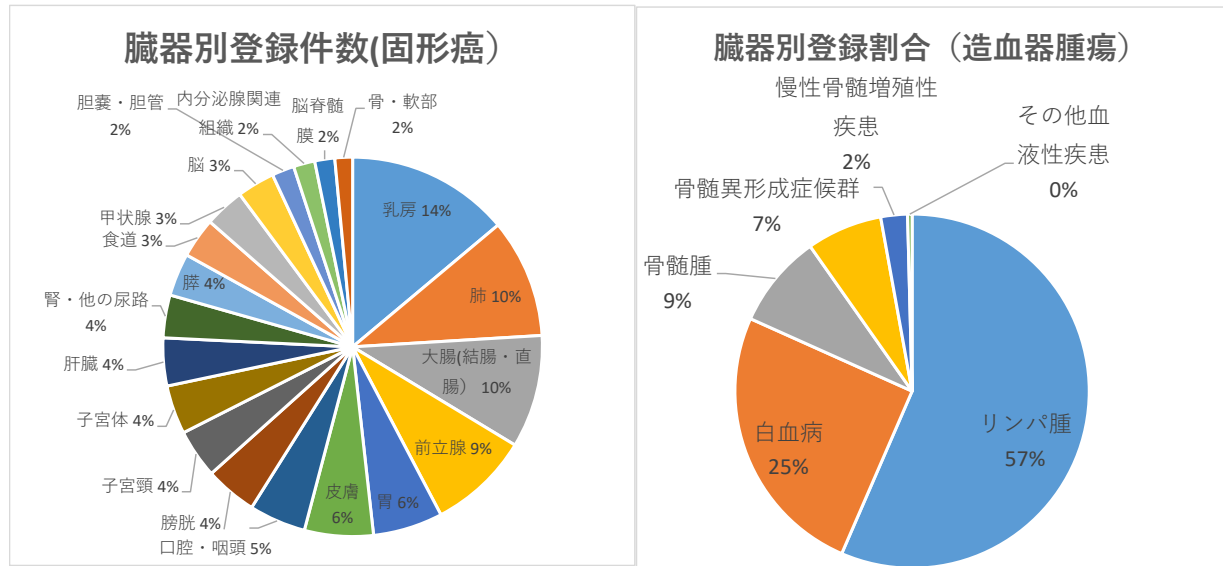
「初回治療終了後」：他施設で初回治療を終えてから当院に来院した

「その他」：他施設で診断され初回治療目的で当院へ来院したが、治療を施行しなかった場合など

診断時年齢別患者数



臓器別登録割合と登録件数内訳



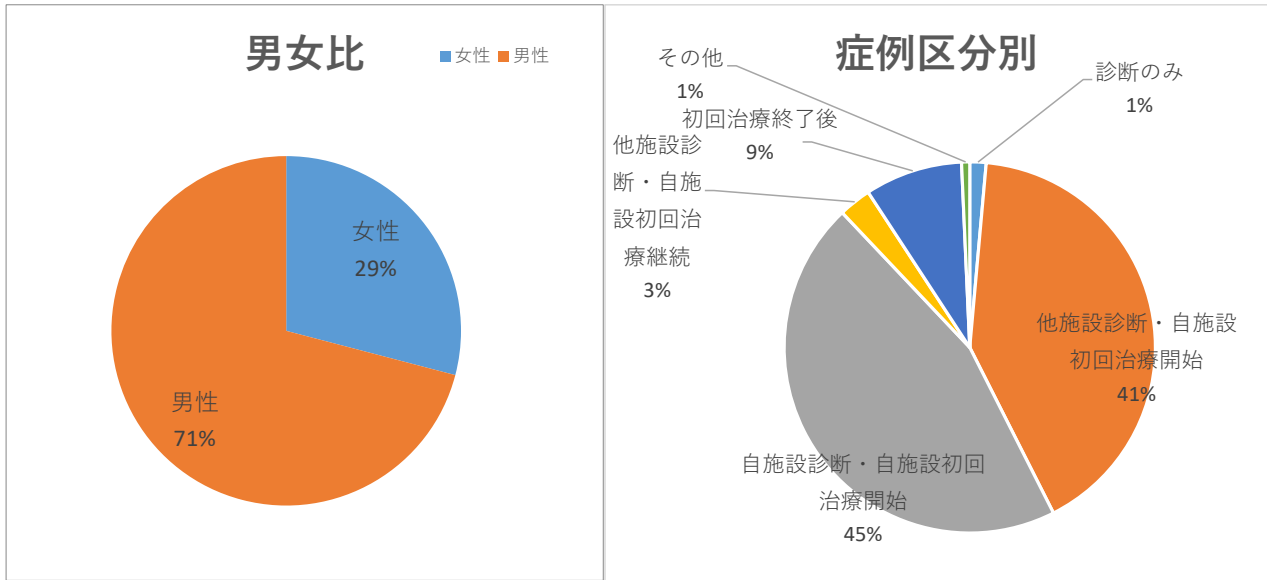
全登録件数内訳

* 10名未満は1-3名、4-6名、7-9名として公表しております

	女性	男性	割合
乳房	347	(4-6)	11.5%
肺	56	200	8.4%
大腸(結腸・直腸)	99	144	8.0%
前立腺	-	218	7.2%
胃	45	105	4.9%
皮膚	74	74	4.9%
リンパ腫	55	84	4.6%
口腔・咽頭	30	92	4.0%
膀胱	25	87	3.7%
子宮体	105	-	3.5%
子宮頸	105	-	3.5%
肝臓	24	79	3.4%
腎・他の尿路	27	65	3.0%
脾	39	53	3.0%
甲状腺	66	20	2.8%
食道	10	76	2.8%
脳	34	47	2.7%
卵巣(悪性)	65	-	2.1%
白血病	26	36	2.0%
胆嚢・胆管	19	29	1.6%
内分泌腺関連組織	27	19	1.5%
脳脊髄膜	28	15	1.4%
骨・軟部	16	22	1.3%
喉頭	(1-2)	33	1.2%
脳神経(脊髄を含む)	17	13	1.0%
精巣	-	28	0.9%
骨髄腫	(4-6)	16	0.7%
副鼻腔	(4-6)	14	0.6%
骨髄異形成症候群	(4-6)	12	0.6%
後腹膜・腹膜	10	(4-6)	0.5%
原発不明	(4-6)	(7-9)	0.4%
外陰	11	(1-3)	0.4%
その他の部位	19	39	1.9%

* 脳・脳脊髄膜・脳神経(脊髄を含む)には
良性腫瘍が含まれます

胃癌



症例区分は、がんの診断・初回治療に当院がどのように関わっているかを表しています。

「診断のみ」：当院でがんを診断したが、初回治療を当院で施行しなかった

「自施設診断・自施設初回治療開始」：当院で診断・初回治療を施行した

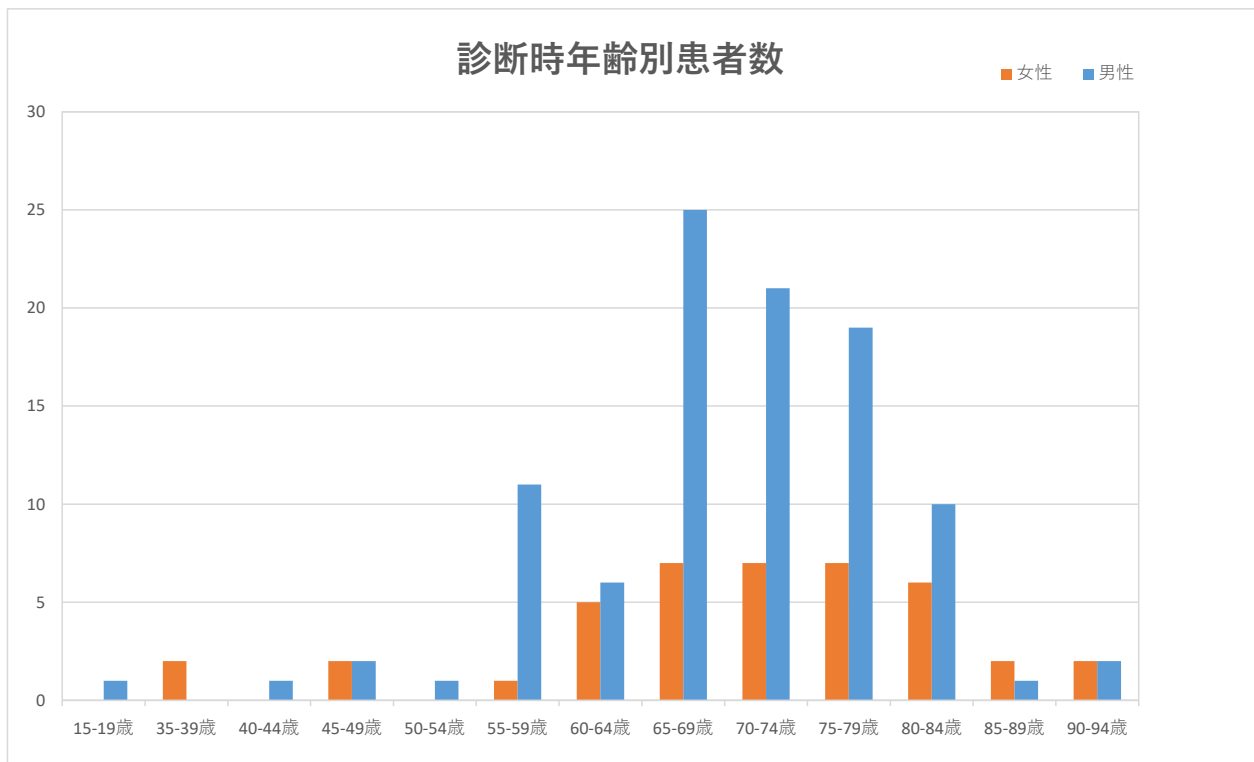
「自施設診断・自施設初回治療継続」：当院で診断後、他施設で初回治療が開始され、その後当院で初回治療を継続した

「他施設診断・自施設初回治療開始」：他施設で診断され、当院で初回治療を施行した

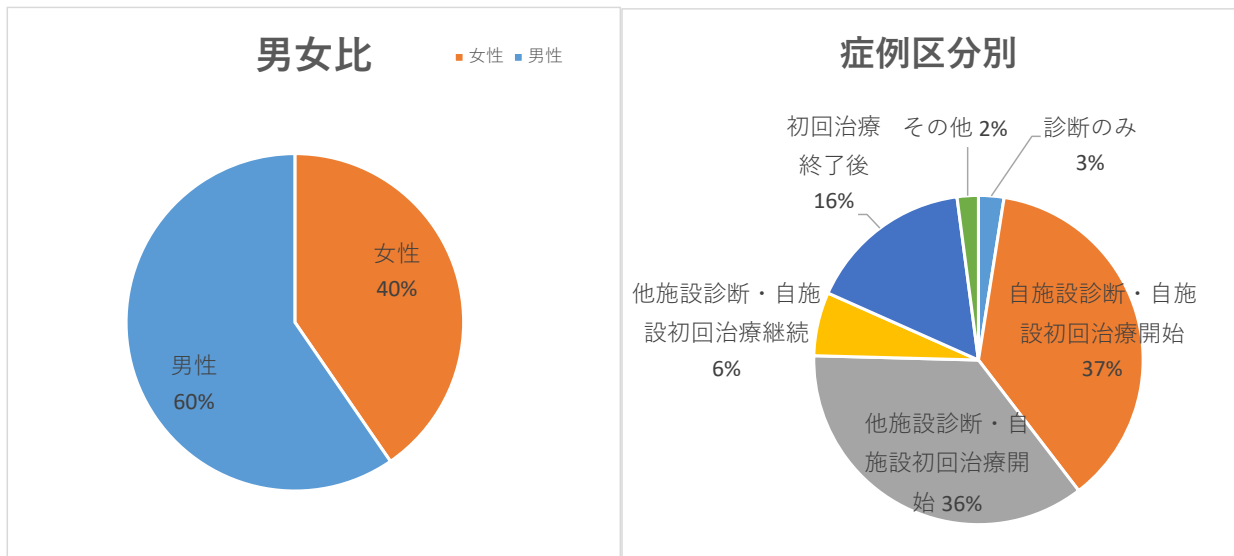
「他施設診断・自施設初回治療継続」：他施設で診断・初回治療が施行され、当院で治療を継続した

「初回治療終了後」：他施設で初回治療を終えてから当院に来院した

「その他」：他施設で診断され初回治療目的で当院へ来院したが、治療を施行しなかった場合など

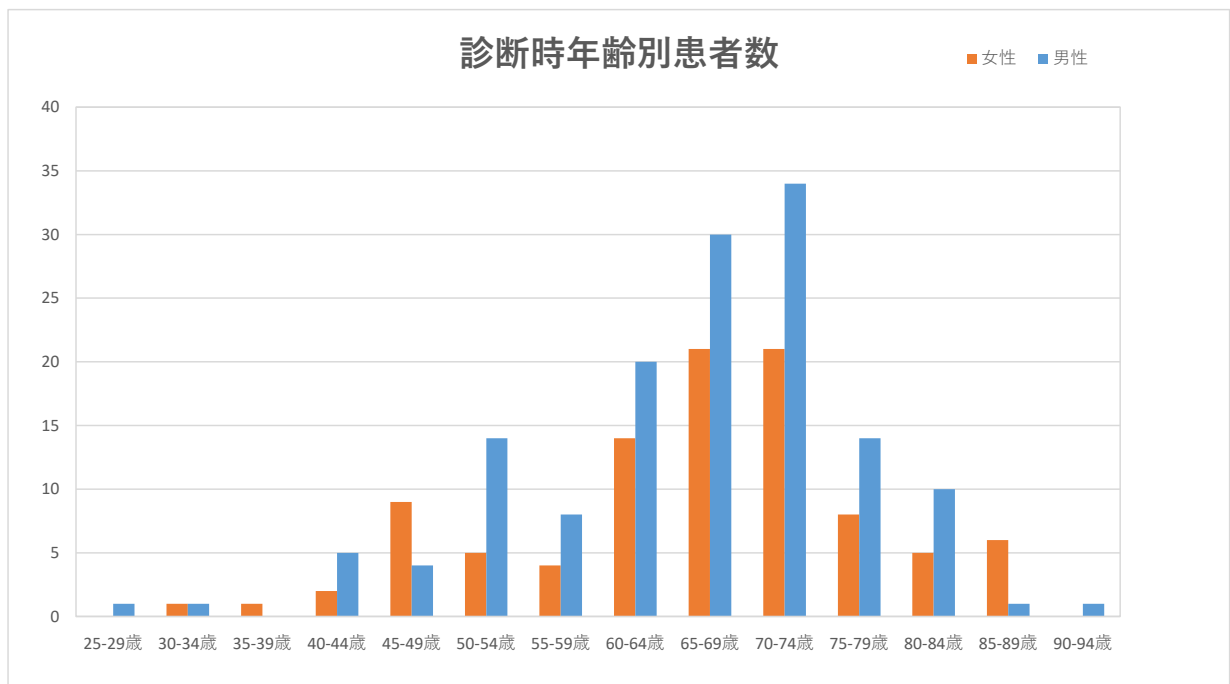


大腸癌



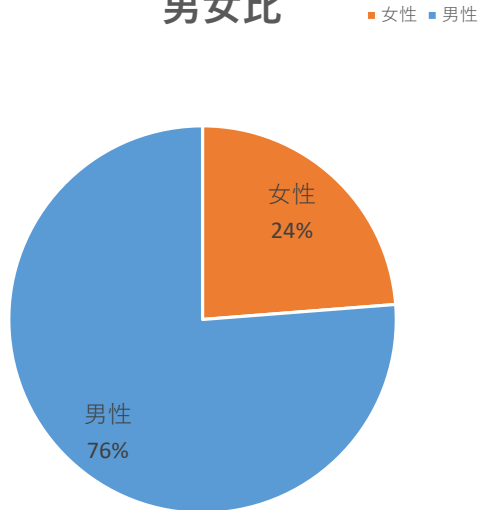
症例区分は、がんの診断・初回治療に当院がどのように関わっているかを表しています。

- 「診断のみ」：当院でがんを診断したが、初回治療を当院で施行しなかった
- 「自施設診断・自施設初回治療開始」：当院で診断・初回治療を施行した
- 「自施設診断・自施設初回治療継続」：当院で診断後、他施設で初回治療が開始され、その後当院で初回治療を継続した
- 「他施設診断・自施設初回治療開始」：他施設で診断され、当院で初回治療を施行した
- 「他施設診断・自施設初回治療継続」：他施設で診断・初回治療が施行され、当院で治療を継続した
- 「初回治療終了後」：他施設で初回治療を終えてから当院に来院した
- 「その他」：他施設で診断され初回治療目的で当院へ来院したが、治療を施行しなかった場合など

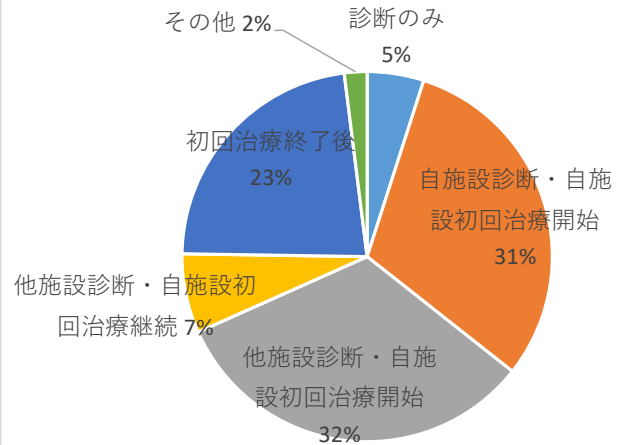


肝癌

男女比



症例区分別



症例区分は、がんの診断・初回治療に当院がどのように関わっているかを表しています。

「診断のみ」：当院でがんを診断したが、初回治療を当院で施行しなかった

「自施設診断・自施設初回治療開始」：当院で診断・初回治療を施行した

「自施設診断・自施設初回治療継続」：当院で診断後、他施設で初回治療が開始され、その後当院で初回治療を継続した

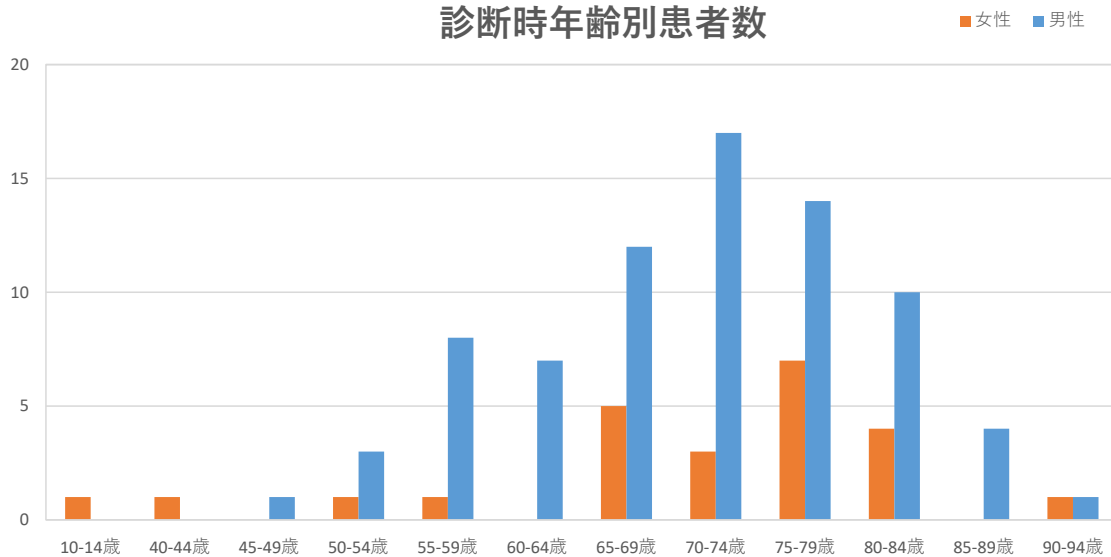
「他施設診断・自施設初回治療開始」：他施設で診断され、当院で初回治療を施行した

「他施設診断・自施設初回治療継続」：他施設で診断・初回治療が施行され、当院で治療を継続した

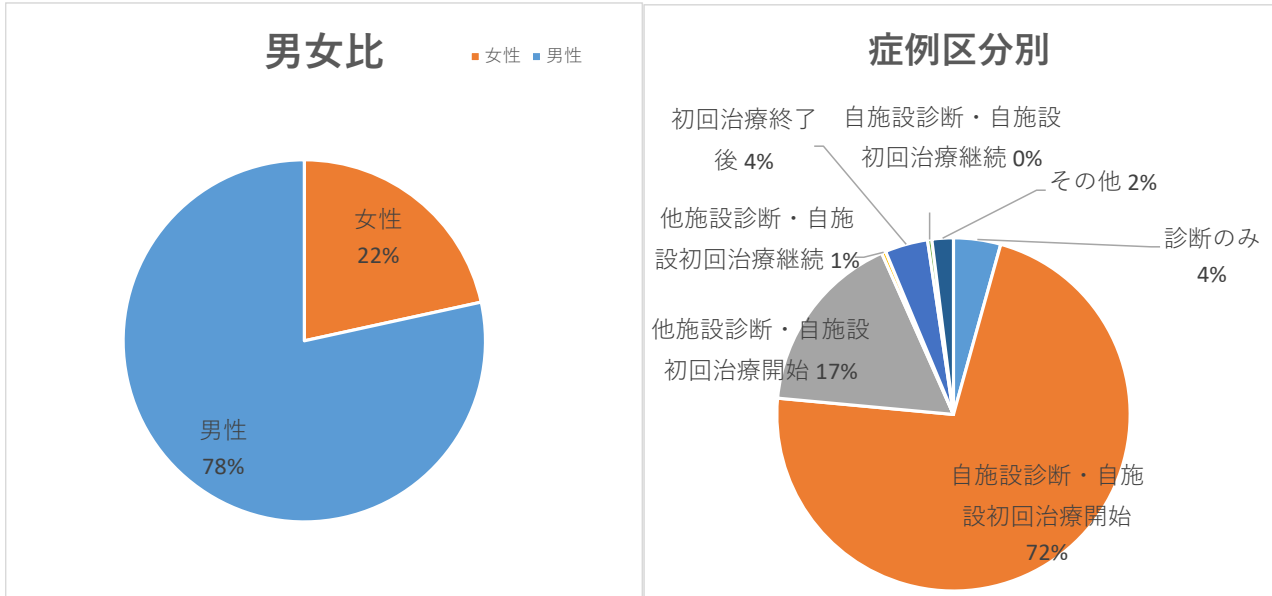
「初回治療終了後」：他施設で初回治療を終えてから当院に来院した

「その他」：他施設で診断され初回治療目的で当院へ来院したが、治療を施行しなかった場合など

診断時年齢別患者数



肺癌



症例区分は、がんの診断・初回治療に当院がどのように関わっているかを表しています。

「診断のみ」：当院でがんを診断したが、初回治療を当院で施行しなかった

「自施設診断・自施設初回治療開始」：当院で診断・初回治療を施行した

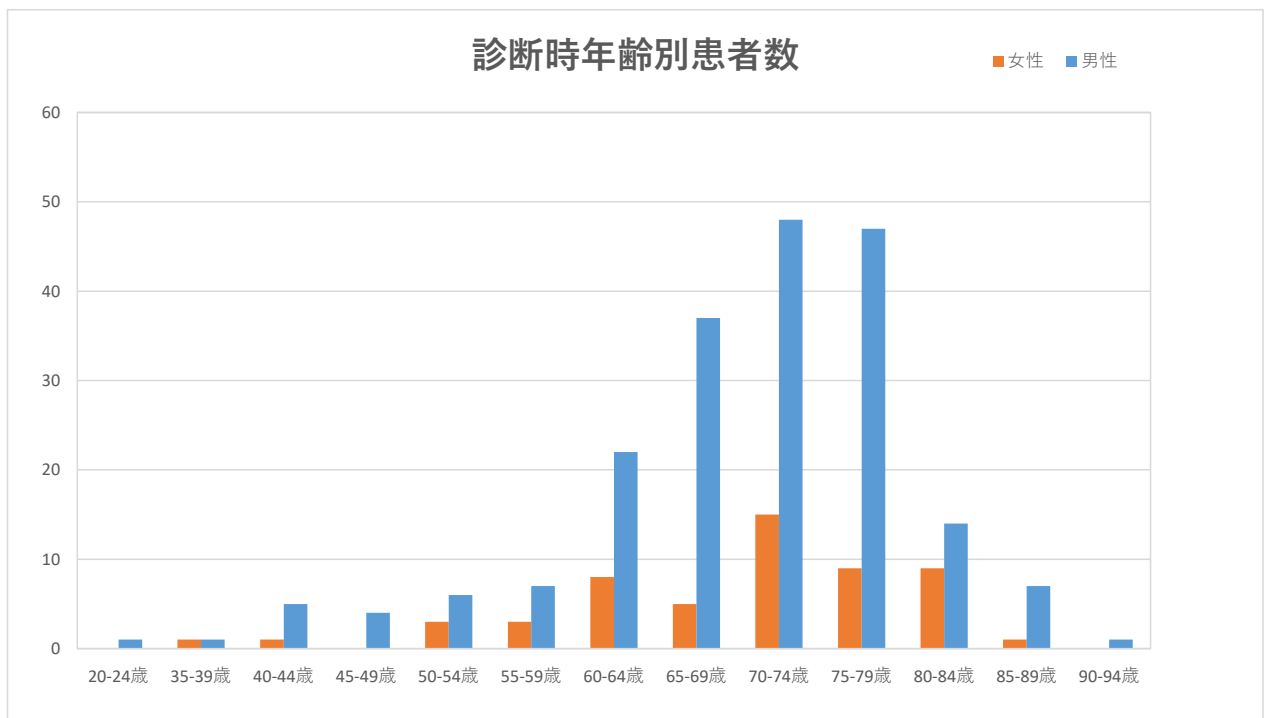
「自施設診断・自施設初回治療継続」：当院で診断後、他施設で初回治療が開始され、その後当院で初回治療を継続した

「他施設診断・自施設初回治療開始」：他施設で診断され、当院で初回治療を施行した

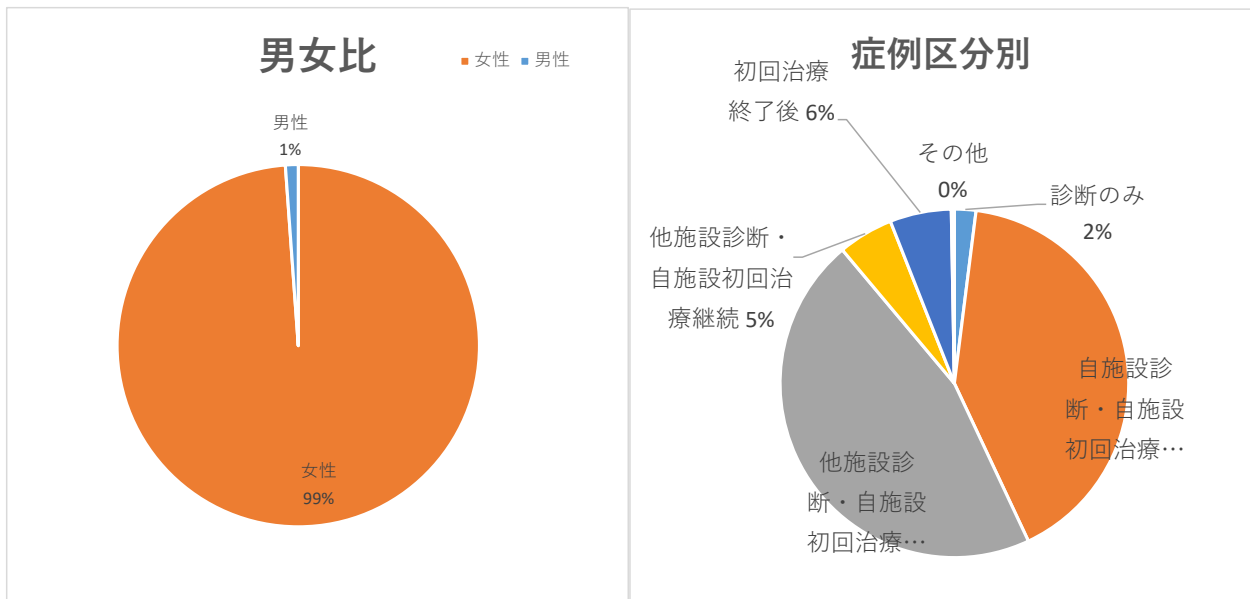
「他施設診断・自施設初回治療継続」：他施設で診断・初回治療が施行され、当院で治療を継続した

「初回治療終了後」：他施設で初回治療を終えてから当院に来院した

「その他」：他施設で診断され初回治療目的で当院へ来院したが、治療を施行しなかった場合など



乳癌



症例区分は、がんの診断・初回治療に当院がどのように関わっているかを表しています。

「診断のみ」：当院でがんと診断したが、初回治療を当院で施行しなかった

「自施設診断・自施設初回治療開始」：当院で診断・初回治療を施行した

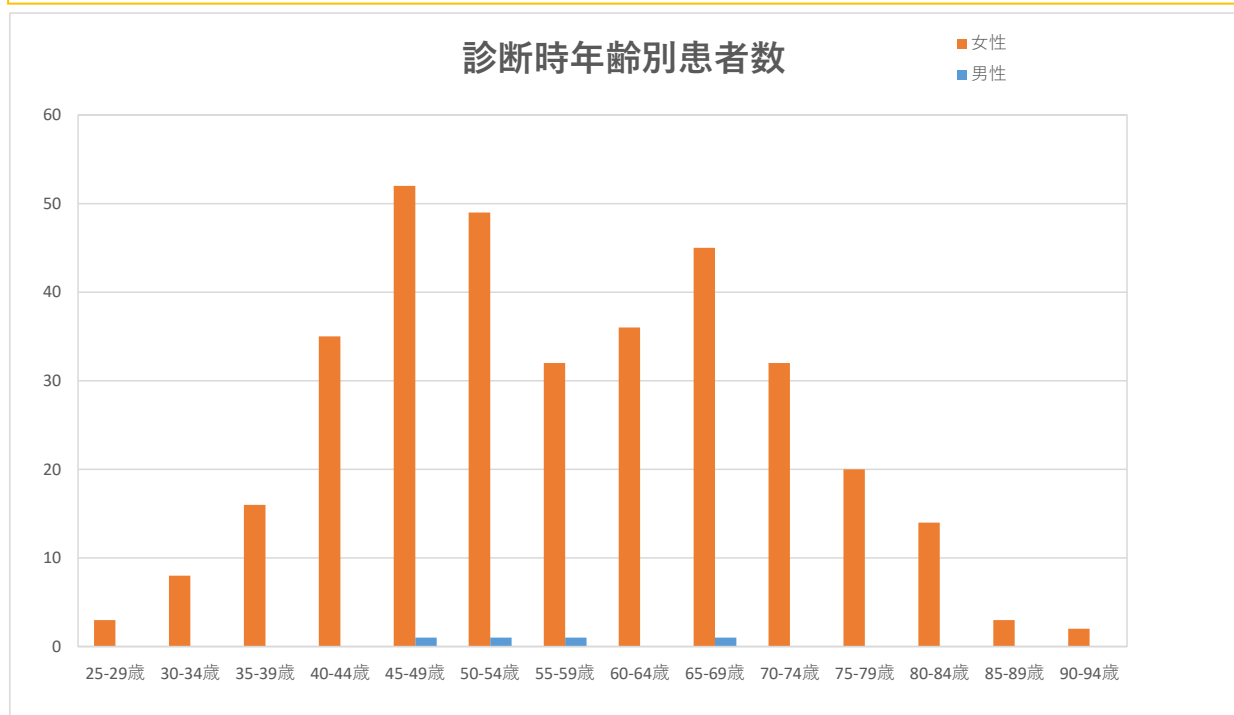
「自施設診断・自施設初回治療継続」：当院で診断後、他施設で初回治療が開始され、その後当院で初回治療を継続した

「他施設診断・自施設初回治療開始」：他施設で診断され、当院で初回治療を施行した

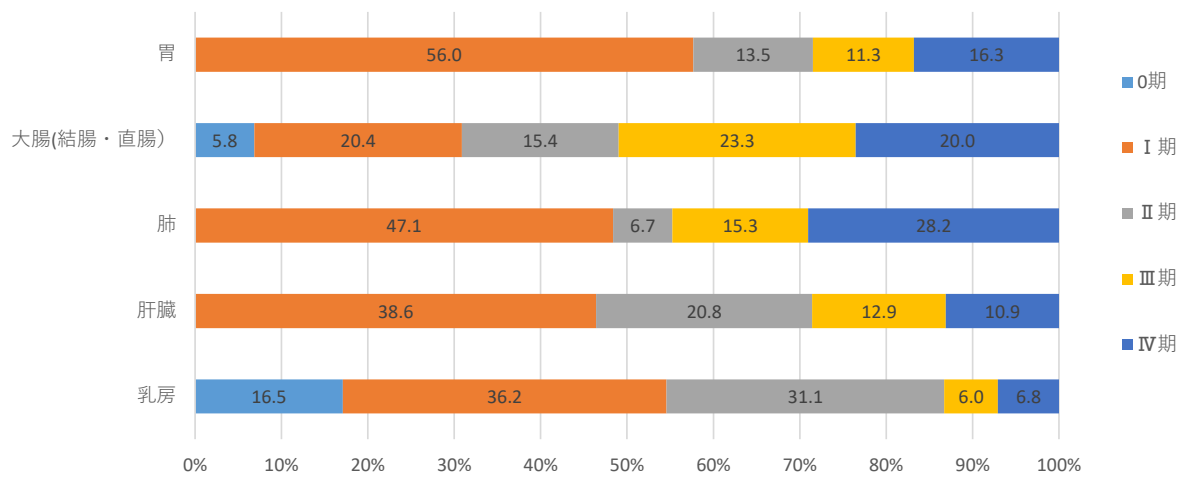
「他施設診断・自施設初回治療継続」：他施設で診断・初回治療が施行され、当院で治療を継続した

「初回治療終了後」：他施設で初回治療を終えてから当院に受診した

「その他」：他施設で診断され初回治療目的で当院へ来院したが、治療を施行しなかった場合など



5 大癌の診断時ステージ



- ・ 5 大癌は日本人に発生する頻度の高い癌で、胃・肺・大腸・肝・乳癌を指します。
- ・ 診断時ステージは初回治療方針を立てるための分類です。
0 期からⅣ期へ数字が大きくなるほど癌が進行しています。
胃癌と肝癌は 0 期が存在しないため、Ⅰ 期から分類しています。
ステージが不明の患者については、初回治療が既に終了しており診断時ステージの情報が得られなかった場合や当初がんとは診断されず手術の結果がんとして診断された症例のため反映していません。